

図書館員の「知」を活用する レファレンス協同データベースの場合

国立国会図書館関西館図書館協力課
大貫朋恵 (info-crd@ndl.go.jp)



自己紹介

- 大貫 朋恵（おおぬき ともえ）
- 2000年 国立国会図書館に就職
- 資料収集業務、レファレンス業務、を経て
- 図書館協力業務へ（2006.10～）
『あうる』（No.83 2008.6+7月号）で
この顔を見ませんでしたか？



はじめに

- **レファレンス協同データベース**とは...

レファレンスに関するさまざまな情報を
館種を越えて蓄積し 利用できる仕組み



* 「さまざまな情報」？

* 「館種を越えて」？

百聞は一見に如かず！



NDLホームページ > 調べ案内 > レファレンス協同データベース

国立国会図書館
National Diet Library

印刷 文字サイズ 小 大 English

トップ | よくあるご質問 | ヘルプ | サイトマップ

利用案内 | 東京本館 | 関西館 | 国際子ども図書館 | サービス | 図書館員の方へ

国会サービス関連情報 | 資料の検索 | **調べ案内** | 電子図書館 | 電子展示会 | 刊行物

新着情報

- ZXC 国際目録原則覚書(2008年4月10日版)を掲載
- ZXC 国立国会図書館件名標目表2007年度版を掲載
- ZXC 7月12日(土)に国際子ども図書館で講演会『チェコの児童書の歩みと研究の今』を開催
- 『図書館調査研究レポートNo.10 子どもの情報行動に関する調査研究』を掲載
- ZXC 職員採用試験一、二種第1次試験合格者受験番号を掲載
- ZXC 講演と対談『インターネットアーカイブの制度化に向けて』
- ZXC 国立国会図書館60周年記念行事のご案内
- テーマ別調べ案内を更新(5月30日)
- 第153回常設展示『国技・相撲』パンフレットを掲載
- ZXC 『国立国会図書館の書誌データの作成・提供の方針(2008)』を掲載
- ZXC 平成20年度職員採用試験速報を掲載(5月16日)

レファレンス協同データベース
統計資料レファレンス・ガイド
企業・団体リスト情報
参考図書紹介
近現代日本政治関係人物文献目録
Dnavi
Books on Japan
日本科学技術関係逐次
常設展示
日本と世界の議会・法令
アジア情報室

レファレンス協同データベース

データベース検索 | 利用方法 | お問い合わせ

Collaborative Reference Database | 事業概要 | 利用上の注意 | 参加館のページ | 国立国会図書館 |

レファレンス協同データベース検索画面

レファレンス協同データベース
Collaborative Reference Database

ヘルプ

詳細検索

詳細検索の詳しい説明は [こちら](#) をご覧下さい。

レファレンス事例

詳細検索へ

お知らせ

2005年12月15日 レファレンス協同データベースを公開しました。

2006年3月30日 新規公開データは、[デジタルアーカイブポータル](#)の「更新コンテンツ」にてご確認いただけます。またRSSも提供しておりますので、ご利用ください(→[詳細](#))。

2008年9月30日 レファレンス事例データの一般公開件数が20,000件になりました。20,000件目は →[このデータ!](#)

簡易検索

レファレンス事例 調べ方マニュアル 特別コレクション 参加館プロフィール

簡易検索の詳しい説明は [こちら](#) をご覧下さい。

! カテゴリからレファレンス事例を検索できるようになりました! 詳しい説明は [こちら](#) をご覧下さい。

NDC(15934) 地名(3207) 人名(1821)

総記:(1401)

[総記\(148\)](#) - [図書館・図書館学\(213\)](#) - [図書・書誌学\(783\)](#) - [百科事典\(50\)](#) - [一般論文集・一般講演集\(11\)](#) - [逐次刊行物\(100\)](#) - [団体\(52\)](#) - [ジャーナリズム・新聞\(111\)](#) - [叢書・全集・選集\(13\)](#) -

哲学:(832)

[哲学\(48\)](#) - [哲学各論\(7\)](#) - [東洋思想\(61\)](#) - [西洋哲学\(21\)](#) - [心理学\(58\)](#) - [倫理学・道徳\(68\)](#) - [宗教\(58\)](#) - [神道\(136\)](#) - [仏教\(340\)](#) - [キリスト教\(62\)](#) -

検索される言葉

1位 [吉田秀雄記念事業財団アド・ミュージアム東京広告図書館](#)

2位 [イリオモテヤマネコ](#)

3位 [裁判員制度](#)

検索される事例

1位 [「この道を行けばどうなるのか」から始まる言葉の全文が知りたい...](#)

2位 [牛乳パックで菓書を作る方法、醤油で石鹸を作る方法がのった本が...](#)

3位 [世界各国のゴミの重さ・その内訳の統計はないか。](#)

おすすめ事例

- [ノーベル平和賞の歴代受賞者の顔写真を探している。](#)
- [大江健三郎のノーベル文学賞受賞記念講演の英文版はないか。](#)
- [バナナの皮でできた絵本があると聞いた。現物を見たい。](#)
- [山田太一と小布施の関係を知りたい。](#)
- [明治30年代に、女性の銀行員は存在していたのか。](#)

どんなデータ？

【参考資料】

紙の博物館図書室「油団について」

【参考資料】

香川県立図書館「裁判員制度に関する資料」

【参考資料】

神奈川大学図書館「日本研究
コレクション」



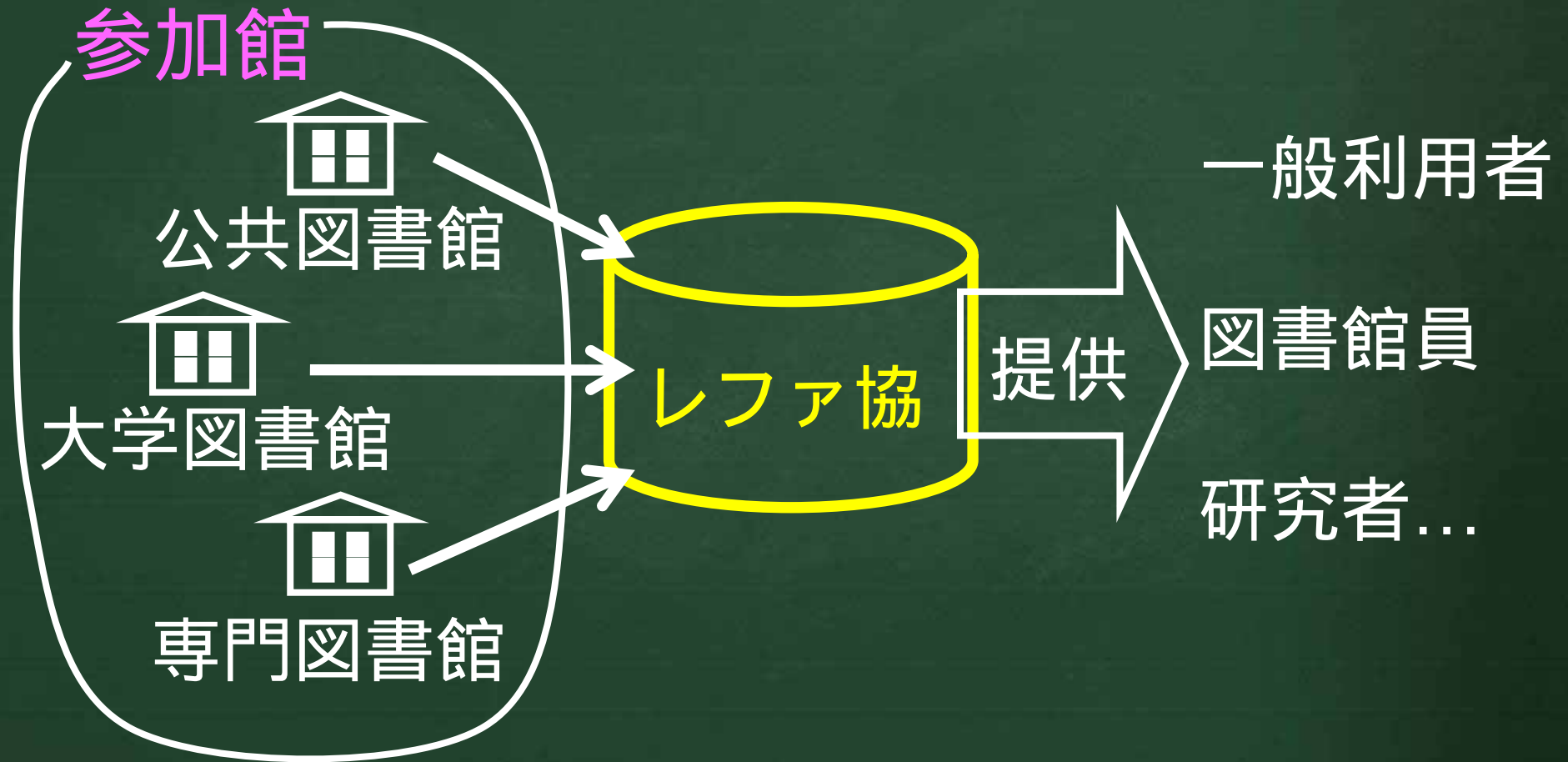
どんな事業？ -1-

目的

「公共図書館、大学図書館、専門図書館等におけるレファレンスに関するデータを蓄積し、インターネットを通じて提供することにより、図書館等におけるレファレンスサービス及び一般利用者の調査研究活動を支援すること」



どんな事業？ -2-



どんな事業？ -3-

経緯

2002年 8月 実験事業として開始

2004年 4月 参加館に公開

2005年 4月 本格事業化

12月 データベースの一般公開



どんな事業？ -4-

現況（2008年10月末現在）

- 参加館数 474館
（公共 304館、大学 124館、
専門その他 36館、NDL 10館）
- データ登録総数 33,309件
（このうち 21,616件 を一般公開）
- アクセス数 119,454件（2008年10月）



どんな事業？ -5-

データ種別

- レファレンス事例
- 調べ方マニュアル
- 特別コレクション
- 参加館プロフィール

公開レベル

自館のみ参照、参加館公開、一般公開



どう使えるの？ -1-

一般利用者にとって

- - 調べものの情報源
- レファ協にアクセスして
- 検索エンジンから
- - レファレンスサービスをより知るために
- - 読んで楽しむ！



どう使えるの？ -2-

図書館員にとって

- - レファレンスの情報源
- - 研修素材
- - サービス改善のためのデータ
- - レファレンスサービスのPR素材

自館・他館の図書館員の「知」を活用！

自館の図書館員の「知」を最大限に活かし、アピール！



実際に使おうと... -1-

研修教材として

- - 秋田県立図書館
「朝レファ」
- 近畿大学中央図書館
未解決事例への取り組み
【参考資料】



実際に使おうと... - 2-

- レファレンスサービスのPR素材として(1)
 - 福井県立図書館
事例紹介、アクセス数
 - 神奈川県立図書館
自館事例の検索スクリプト



実際に使おうと... - 3-

- レファレンスサービスのPR素材として (2)
 - 広告図書館
図書館の利用実績
 - 紙の博物館図書室
ホームページ、ブログ「図書室の窓から
紙博図書室日記」での紹介



どう使えるの？ -3-

研究者にとって

- - 研究の素材として

図書館情報学

その他

2万件を越える
一般公開事例！

実践的な教材！
遠隔研修的な
ツールとしても有効！

- 授業、司書養成講座の教材として



実際に使おうと... - 4-

- 研究の素材として(1)
 - 小田光宏(青山学院大学)
科学研究費補助金採択課題
「成果共有型ネットワークを活用した図書館職員の技能育成に関する研究」
「成果共有型ネットワークを活用した独習/協調研修プログラムに関する実証的研究」



実際に使おうと... - 5-

- 研究の素材として(2)
 - 原田隆史、江藤正己、大西美奈子
「レファレンスデータに対するNDCの自動付与」
(『情報知識学会誌』Vol.17, No.2,
pp.61-64, 2007)



実際に使おうと... - 6-

- 授業、司書養成講座の教材として
 - 慶應義塾大学文学部
「情報資源管理特殊講義」
 - 青山学院大学eラーニング専門家育成プログラム（eLPC0）「情報サービス特論」
 - 図書館司書専門講座
 - JLA中堅職員ステップアップ研修



つ ま り

レファレンス協同データベースとは...

レファレンスに関するさまざまな情報を
館種を越えて蓄積し 利用できる仕組み

レファレンスに関する
図書館員の「知」の集合体



図書館員の「知」を結集した

レファレンス協同データベース

ぜひ ご活用ください！

<http://crd.ndl.go.jp/>



ご清聴いただき
ありがとうございました。

